



社会医療法人財団 石心会

川崎幸病院

地域医療連携室ニュース

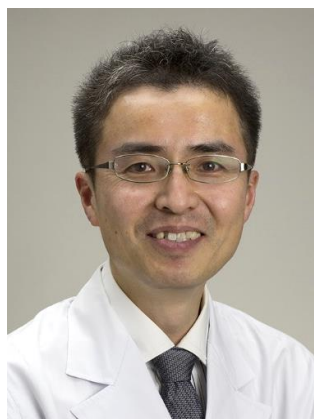
いま求められる医療をもっと高めたい

2014
Vol.5

川崎幸病院 地域医療連携室 TEL:044-544-4611(代)
〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町31番地27



消化器内科 診療体制のご案内



川崎幸病院
消化器内科部長
内視鏡センター長
大前 芳男

消化器内科は、現在7名体制で、日本消化器内視鏡学会、日本消化器病学会、日本消化管学会、日本肝臓学会等の各分野における専門医がおり、高度専門医療の提供と24時間365日の緊急内視鏡体制の2本柱で日々診療しております。

高度専門医療の提供に関しては、早期癌に対して拡大内視鏡による拡大観察や狭帯域光観察(NBI)を用いたより正確な診断を行い、内視鏡的粘膜下層剥離術を行っております。ガイドラインにおける適応拡大病変まで行っておりますので、以前は手術を行っていた大きな病変に対しても、より低侵襲な内視鏡治療で行うことができます。

また、胆道系領域に関しては、以前は内視鏡的には除去することが困難であった巨大な総胆管結石に対して、内視鏡的乳頭ラージバルーン拡張術(EPLBD)を行うことにより内視鏡的に除去しております。

さらに、急性胆嚢炎に対しては、抗血小板剤・抗凝固剤の内服、肝硬変や腹水貯留などにより経皮経肝胆嚢ドレナージが行えない場合でも、内視鏡的胆嚢ドレナージを行い治療しております。

24時間365日の緊急内視鏡体制については、出血性胃十二指腸潰瘍に対する止血術や食道静脈瘤破裂に対する結紮術等の上部消化管出血だけではなく、直腸



潰瘍や大腸憩室出血等の下部消化管出血に対しても、緊急内視鏡による止血術を行っております。

大腸憩室出血に、関しては、当院IVR科と連携し、必要であれば緊急で塞栓術も行っております。また、カプセル内視鏡やダブルバルーン内視鏡により小腸疾患に対しても内視鏡診断・治療を行っておりますので、全消化管の出血に対して対応出来る体制をとっております。

地域の要望にこたえられる中核病院として、地域医療に貢献していきたいと考えておりますので、今後ともご指導・ご協力のほど宜しくお願い致します。

治療対象疾患

1) 悪性腫瘍など

食道がん、胃がん、大腸がん、肝細胞がん、膵臓がん、胆のうがんなど

2) 良性疾患

出血性胃潰瘍、十二指腸潰瘍、大腸ポリープ、炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、クローン)、総胆管結石、胆のう結石、肝硬変、慢性膵炎など

3) 急性疾患

出血性胃十二指腸潰瘍、食道静脈瘤破裂、虚血性腸炎、大腸憩室炎、急性胆嚢炎、急性胆管炎、急性膵炎など



24時間365日 緊急内視鏡検査・治療に対応

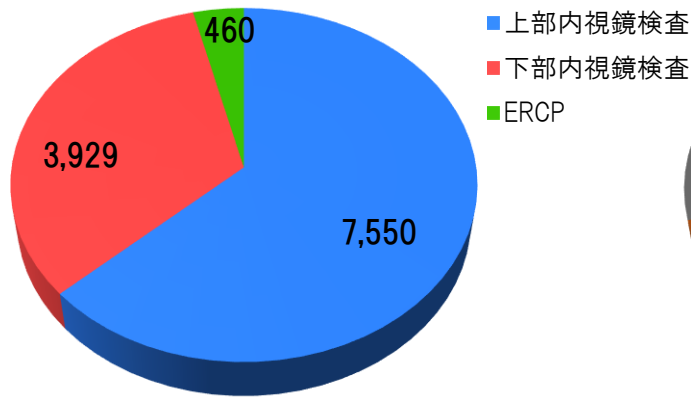


当院では、受け入れ先が困難になる場合もある吐血や下血など緊急対応を要する消化管出血に対して、**24時間365日緊急内視鏡検査・治療を行える体制**をつかっており、他院では対応できないような場合でも積極的に受け入れて、内視鏡的止血術を行っております。

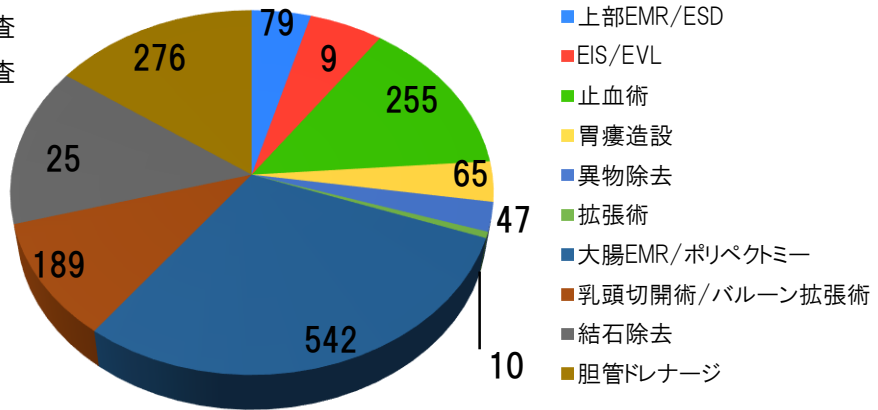
その他にも、胆道感染、急性膵炎、炎症性腸疾患、急性肝炎等の重症化する可能性のある疾患に関しても迅速に対応し適切な治療を行っております。

2013年内視鏡検査総件数

(川崎幸病院、川崎幸クリニック合計)



2013年川崎幸病院 内視鏡治療施行1,819件の内訳



最新の内視鏡機器を用いた 正確な診断

■ 拡大内視鏡

当院の拡大内視鏡は約100倍までの拡大が可能です。

例えば下部内視鏡検査では、大腸ポリープの表面構造を拡大観察することにより、腺管開口部の模様 (pit pattern) を観察し、生検することなく、病理組織像を診断することが可能となります。

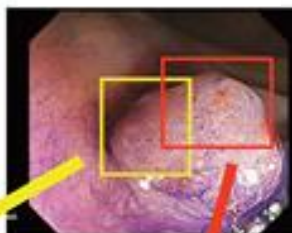
※当院では工藤分類に基づいてpit pattern診断を行っています。

■ 早期大腸癌

通常観察



ピオクタニン染色



拡大観察により早期大腸癌と診断



■ 狭帯域光観察 :NBI

狭帯域光観察(NBI) は、血液中のヘモグロビンに吸収されやすい狭帯域化された2つの波長(390~445nm/530~550nm)の光を照射することにより、粘膜表層の毛細血管、粘膜微細模様の強調表示が可能になります。

NBIを用いて拡大観察することにより、病変の表面構造、毛細血管構築を詳細に観察することが出来ます。

■ 大腸腺腫

通常観察



NBI観察



NBI拡大観察

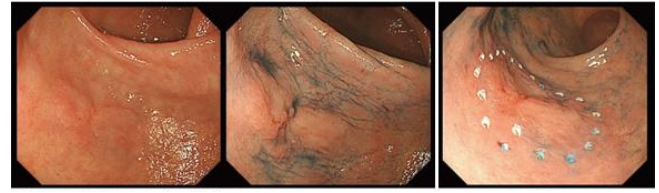
拡張した毛細血管が網目状に認められ、線腫と診断できる。



高度な 専門的治療

内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)は、早期癌に対してはもちろんのこと、ガイドラインにおける適応拡大病変まで行っておりますので、以前は手術適応だった大きな病変に対しても低侵襲な内視鏡治療で行うことができます。

また、急性胆管炎や胆管狭窄に対する内視鏡的胆道ドレナージ術も行っていますが、急性胆嚢炎に対しても、抗血小板剤の内服や腹水貯留等にて経皮経肝胆嚢ドレナージが出来ない場合は、内視鏡的経乳頭の胆嚢ドレナージ術も行っています。



前庭部大弯前壁にⅡa+Ⅱc病変を認める 周囲をマーキングする



IT-Knife2で全周を切開し、粘膜下層を剥離する 一括にて切除した



内視鏡センター 苦痛の少ない検査・治療

内視鏡センターでは、安全で苦痛の少ない検査・治療を心がけています。

下部内視鏡においては、空気の代わりに炭酸ガスを使用してお腹の張りを軽減できる「CO2送気装置」を使用していますし、鎮静剤や鎮痛剤を希望された場合にも安全に使用できるように、血圧や血中酸素濃度をモニターしながら検査を行い、外来患者さんでも十分に休んでから帰宅出来るようにリカバリースペースを設置しています。

また、女性医師・技師による検査も可能です。下部内視鏡検査に抵抗を感じる女性の患者さんも安心して検査いただけます。



内視鏡ブース4室/処置室1室



リカバリースペース



女性医師/技師による検査も可能

女性の患者さんも安心して検査が受けられます

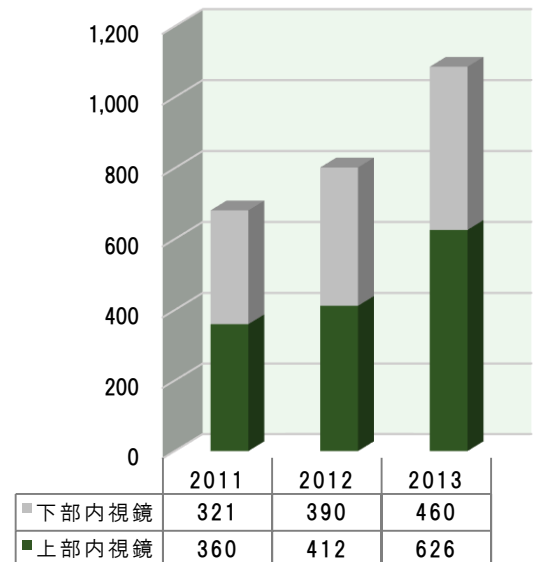


治療実績

■ 内視鏡検査・治療件数年次推移

	2011年	2012年	2013年
上部内視鏡検査	2,290	2,954	4,152
EMR/ESD	49	57	79
止血術	163	196	219
EIS/EVL	33	70	99
胃瘻造設	74	90	65
下部内視鏡検査	1,546	2,104	2,798
EMR/ポリペクミー	420	484	525
ERCP	246	363	460
EST/EPBD	99	176	189
結石除去	131	183	239
胆管ドレナージ	151	232	271
気管支鏡	104	80	61
緊急内視鏡	552	618	629

■ 川崎幸病院オープン検査件数年次推移



いつもご利用いただき、ありがとうございます。



消化器内科 スタッフ



(前列左より)

藤原 裕之 (消化器内科医長)/
大前 芳男 (消化器内科部長/内視鏡センター長)/
高畑 彩子 (消化器内科医長)

(後列左より)

十倉 淳紀 (シニアレジデント)/堀野 誠 (消化器内科医員)/
眞田 和賢 (消化器内科医員)/岡本 法奈 (シニアレジデント)

川崎幸病院消化器内科では、高度専門医療の提供と24時間365日の緊急内視鏡体制の2本柱で地域医療に貢献していきたいと考えております。今後ともご指導・ご協力のほど宜しくお願い致します。

消化器連携の会開催のご案内



消化器連携の会 日程

平成26年10月17日(金)
19時ごろを予定しています
川崎日航ホテルを予定しています

消化器連携の会を上記日程にて予定しております。
ご多用中のこととは存じますが、何卒ご臨席賜りますようお願い申し上げます。
会の詳細が決まり次第、後日改めてご案内させていただきます。



川崎幸病院(救急外来)患者様のご紹介方法について

救急患者のご紹介
オープン検査のご予約

代表: TEL.044-544-4611 (24時間対応)

連携室直通: TEL.044-544-4638

※直通番号は右記の時間以外は病院受付に自動転送されます。(平日/8:30~17:00,土曜日/8:30~12:30)
※登録医の先生方のご紹介・検査予約に関しては、連携室にて対応させていただきます。